## 澁澤賞受賞 第60回

第60回 (平成27年度) 日本電気協会澁澤賞贈呈式が平 成27年11月27日、東京都内にて行われ、賞状ならびに記 念品が受賞者に贈呈されました。

澁澤賞は、故澁澤元治博士が昭和30年に文化功労者と して表彰を受けられた栄誉を記念し、昭和31年に創設さ れました。本賞は毎年11月に電気保安に優れた業績を上 げた方々を対象に表彰するもので、各界より広く認めら れている権威ある賞です。

第60回の節目となる今回は、当社より3件・5名が受賞 しました。

電気保安に有効なシステム・機器の発明工夫として、 「超高圧線路用地絡点表示器の開発」(受賞者:清水雅仁さ ん(技術開発本部電力技術研究所)・田中 博さん(名古 屋支店中村電力センター蟹江電力所送電課)・木下浩一さ ん(長野支店長野電力センター送電課))と「経年CVケー ブル終端部の劣化診断技術の開発」(受賞者:小浜隆治さ ん(名古屋支店緑電力センター送電課))が受賞しました。

「超高圧線路用地絡点表示器の開発」は3名が電力技術 研究所に在籍していた時の成果で、地絡点表示器(G・フ ァインダ) と呼ばれる装置をこれまで困難であった超高 圧送電線へ適用可能としたものです。当社では現在、 275kV上越火力線のうち冬季に故障点探索が困難な鉄塔 77基に設置されており、他の電力会社においても数多く 導入されています。

「経年CVケーブル終端部の劣化診断技術の開発」は、経 年で発生する部分放電により、絶縁油中に生成・蓄積さ れるアセチレンガスを採取・分析し、劣化レベルを判定 する手法で、平成22年の実用化以降、経年CVケーブル終 端部の保守業務軽減に大きく寄与しています。

また、北岡 暢さん (現 (株)中部プラントサービス出 向)は、昭和57年入社以来33年間の長きにわたり電気保 安の確保に貢献されました。数多くの最新鋭火力発電所 の電気設備建設・保守に従事され、高い技術力と深い観 察眼を持って職務にあたられた功績が表彰となりました。



贈呈式会場にて(左より木下さん、清水さん、田中さん)



贈呈式会場にて(小浜さん)



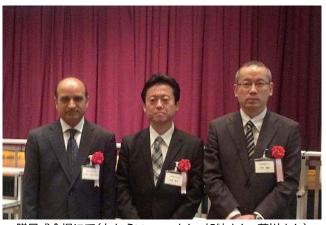
贈呈式会場にて(北岡さん)

## 第63回 電気科学技術奨励賞受賞

第63回電気科学技術奨励賞贈呈式が平成27年11月19 日、東京都内にて行われ、賞状ならびに記念品が受賞者に 贈呈されました。同賞は電気科学技術の発展に寄与した 電力・産業交通・情報通信分野などの発明・研究に対し て贈られるもので、歴史の深さとその領域の広さが特徴 で、権威のある賞として位置付けられています。

今回、当社電力技術研究所流通グループ系統チームの S.C. Verma研究主査、加納主任と、愛知電機(株)の苻川 氏が、「新型電圧制御装置の開発」により受賞しました。

本受賞件名は、高圧配電系統における太陽光発電の出 力変動時に適正な電圧を維持できる応答性の速い電圧制 御装置を低コストで実現した点が評価されたものです。



贈呈式会場にて(左からVermaさん、加納さん、苻川さん)